

2015.10.4 | 日 | - 11.1 | 日 |

# 歴史の記憶 須田剋太 「街道をゆく」

## 挿絵原画展 第3回 阿波紀行



鳴門大橋

坂の上の雲ミュージアム  
2階ホール（無料）



笠和山霊山寺

司馬遼太郎さんが25年にわたって『週刊朝日』に連載した「街道をゆく」のなかで、四国を舞台にあつかったのは「南伊予・西土佐のみち」「橋原街道」「阿波紀行」の3篇です。阿波紀行の取材は、1988年2月におこなわれています。司馬さんと挿絵を担当した須田剋太さんとの旅は、紀伊を出発点とする古代の南海道にそったものでした。

阿波紀行のなかには、興味深い司馬さんの思索の<sup>ひだ</sup>襞をいくつも垣間みることができます。そのひとつは、京都弁におよぼした阿波弁の影響のおおきさについての指摘です。

須田剋太さんの挿絵は、司馬さんの思索の<sup>ひだ</sup>襞からほぼ独立した形でえがかれています。それでいて、お二人の表現がどこかの次元で強く呼応しあうような不思議な構図になっています。須田さんの力強いタッチの挿絵は、すぐれて個性的な視点で切りとった時間と風景を、歴史として定着する役割をはたしているといえるでしょう。

坂の上の雲ミュージアム館長 松原正毅



ドイツ兵が作ったメガネ橋



お遍路さん

■ 関連イベント 記念対談 須田剋太の作品世界  
出演者 中塚宏行(美術評論家/学芸員)  
松原正毅(坂の上の雲ミュージアム館長)  
日時 平成27年10月11日(日) 14:00 ~ 15:30  
場所 坂の上の雲ミュージアム2階ホール

資料協力:大阪府立江之子島文化芸術創造センター(所蔵先) 主催:松山市(坂の上の雲ミュージアム)、四電ビジネス株式会社愛媛支店

# 坂の上の雲ミュージアム

SAKANOUE NO KUMO MUSEUM

〒790-0001 愛媛県松山市一番町三丁目20番地 TEL 089-915-2600 FAX 089-915-3600  
E-mail:saka-museum@city.matsuyama.ehime.jp URL:http://www.sakanouenokumomuseum.jp/

アクセス  
・JR松山駅から [所要時間約10分] 市内電車(道後温泉行)——大街道下車——徒歩2分  
・道後温泉から [所要時間約10分] 市内電車(全線)——大街道下車——徒歩2分  
・松山空港から [所要時間約30分] リムジンバス(道後温泉行)——一番町下車——徒歩2分  
・松山観光港から [所要時間約30分] リムジンバス(道後温泉行)——一番町下車——徒歩2分

